

7 それでは、何と言いましょか。律法は罪なのでしょうか？ 決してそうではありません。しかし、律法を通してでなければ、私は罪を知ることはありませんでした。私は欲情(欲望)を知らなかったことでしょう、もし律法が、『欲してはならない』と言ったのでなかったとしたなら。8 しかし、罪は戒めによって機会を捕らえ、私のうちにあらゆる欲望を生み出しました。律法がなければ、罪は死んでいます。9 この私は律法なしにかつては生きていました。しかし、戒めが来たとき、罪が生き返りました。10 そして、この私は死にました。それで私は発見しました、いのちに至る戒め、それが死に至らしめると。11 罪は戒めを通して機会を捕らえ、私を欺きました。そして、それを通して殺したのです。12 ですから律法は聖なるものです。戒めも聖なるものであり、正しく、また善いものです。

13 それではこの善いものが、私に死をもたらしたというのでしょうか？ 決してそうではありません。むしろ罪がそれ(死)をもたらしたのです。それはこの善いものをとおして私に死を生み出すことによって、罪が明らかにされるためでした。それは、罪が戒めを通して限りなく罪深いものになるためでした。

14 それは私たちが、律法が霊的であることを知っているからです。しかし、この私は肉の者です。罪によって売り渡されています。15 自分のしている(生み出している)ことが私には分かりません。それは、自分が望むことを私が実行しているのではないからです。かえって、自分が憎んでいることを行っています。

16 もし自分の望んではいないことを行うのであれば、私は律法を良いものと認めていることとなります。17 ですから、今それを生み出しているのは、もはや私ではありません。そうではなく私のうちに住みついている罪なのです。

18 それは私が知っているからです、自分のうちに、すなわち私の肉のうちに、善が住んでいないことを。私の中にはそれ(善)を望む思いがいつもあるのに、その良いことを生み出すことがないからです。19 それは、望んでいる善を行わないからです。かえって、望んではいない悪を実行しているからです。20 しかし、もし私が自分の望んではいないことを行うのであれば、それを生み出しているのは、もはや私ではなく、私のうちに住みついている罪です。

21 それで、律法に関して、これを私は発見します、良いことをしようと望んでいる私にとって、悪が私の身近にあるということ。23 それは律法を私は喜んでいてからです、内なる人としては。しかし私のからだの中には別の律法があるのを見えています、それが私の心の律法に対して戦いを挑み、私のからだの中に

存在している罪の律法の虜にしているのです。

24 なんとみじめな人間なのでしょう、この私は。だれがこの死のからだから私を救い出してくれるのでしょうか。 25 しかし、神に感謝します、私たちの主イエス・キリストを通して。こうしてこの私は、心では神の律法に仕えています。ただ肉では、罪の律法に仕えているのです

諺(ことわざ) 「地獄への道は善意(良い心がけ)で舗装されている」

(The road to hell is paved with good intentions)

2 章 17-24 節でのイスラエルの現実 「律法から教えられて…他人を教えながら、自分自身を教えない…盗むなど説きながら、自分は盗む…姦淫するなど言いながら、自分は姦淫する…偶像を忌み嫌いながら…神を侮っている」

エレミヤ 31:32,33 「その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った…これらの後の日に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである…わたしはわたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心に書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる」

ローマ 5 章 12 節 「ですから、ちょうど一人の人を通して罪が世界に入り、罪を通して死が入ったのと同じように、死がすべての人に広がったのです、それに基づいてすべてが罪を犯すことになりました」

ローマ 3 章 23, 24 節 「すべての人が罪を犯して、神の栄光を受けるに値しなくなっている…それで、神の恵みによって価なしに(無償で)義と認められることになりました、それはキリスト・イエスによる贖いを通してのものです」

創世記 4:7 「戸口で罪が待ち伏せている。罪はあなたを恋い慕うが、あなたはそれを治めなければならない」

I コリント 15 章 56-58 節、「死のとげは罪であり、罪の力は律法です。しかし、神に感謝します。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。ですから、私の愛する兄弟たち。堅く立って動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは、自分たちの労苦が主にあって無駄でないことを知っているのですから」

II コリント 12:7,9 パウロの「肉体に一つのとげを与えられ」、それを取り去って欲しいと心から願いました。「しかし主は『わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さのうちに完全に現れるからである』と言われました。ですから私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう」